

















ふれあい遊び

遊ぶとわかせ...

*周囲の環境に注意しましょう。パズルやビーズなどの小さな玩具は誤飲に注意しましょう。
*ネックレスや紐などは首にかけないようにしましょう。子どもの手に引っかかるなど、事故につながる可能性があります。
*外で遊ぶときは、車や自転車等に注意し、水路や水溜まりなどの環境にも気をつけましょう。

時期	ねんね期	首がすわったら...	お座り期	ハイハイ期	歩き始めたら...	1歳6か月~	2歳~	2歳6か月~	3歳~	
ポイント	親子のスキンシップを楽しみましょう！ 「見る」「聞く」「触る」の刺激が◎ ★語りかけるときは小さな声でやさしく。 ★1つのことに集中させましょう。 ★大きく体を動かさずに、ゆらゆら揺らす程度にしましょう。	遊びの幅がグンと広がる時期です。高い高いなどのダイナミックな遊びも◎ 「どうぞ」「ちょうだい」などの分かりやすい動作を見せましょう！ ★誤飲には十分に気をつけて。 ★体を使う遊びは様子をみながら行いましょう。 ★くり返し遊びましょう。	ことばと体を使った遊びを取り入れましょう！ まねっこして遊びましょう！ ★赤ちゃんの周りに危険がないかチェックしましょう。(P18 参照) ★赤ちゃんの気持ちに共感しましょう。	体全体を使った大きな動きや手先を使った小さな動きを意識しましょう！ バランス感覚を刺激するような遊びも◎ ★コミュニケーション意欲も高まる時期なので、積極的に声をかけましょう！	大人のやることをよく観察して、それを再現して遊ぶことが楽しい時期です。 ★本物の道具を使いたがったら許せる限り、見守りのもと、自由にさせましょう。 ★お手伝いをお願いしてみるのも良いでしょう。	公園の遊具で、自分で遊べるようになります。				
遊び	<p>「おめでとういかけっこ」 カラフルなガラガラや音がするおもちゃを目の前でゆっくり動かしてみよう。</p>  <p>「うつぶせでこんにちは」 2か月前後になって、赤ちゃんが嫌がらなければうつぶせで遊んでみて。首を持ち上げたらこんにちは。顔が埋もれるほど柔らかい場所は避けましょう。</p> 	<p>「はい、どうぞ」 小さなおもちゃなどを「はい、どうぞ」上手に受け取れたらほめてあげて！</p>  <p>「ママと赤ちゃんであわわ」 ママが赤ちゃんのお口に手を軽くあててたたくようにし「アワワ...」慣れてくると自分でやろうとします。</p>  <p>「一緒にダンシング」 おすすめした赤ちゃんの両手を持って音楽に合わせて一緒にダンシング♪</p> 	<p>「はいはい戻し」 はいはいやずりばいをする赤ちゃんを「まてまて～」と言いながら、やさしく引き戻します。リズムやテンポを変えてみて。</p>  <p>「おんぶでゆらゆら」 赤ちゃんをおんぶして跳ねるようにして、パパやママの上半身を上下にゆすって遊びます。</p>  <p>「ばたばたペンギン」 パパやママの足の上に、赤ちゃんの足を乗せて「いっちに、いっちに」とリズムに乗ってゆっくり歩いてみましょう。</p> 	<p>「お絵描きじょうず」 大人が描いた絵を塗りつぶしたり、大きな紙を広げて、自由に絵を描いたりします。</p>  <p>「とことこ手押し車」 子どもの胸からおなかあたりを持ち上げて、前進します。手は肩幅、体は床に水平です。</p>  <p>「ままごと遊び」 お母さんになったつもりでままごとをして遊びます。</p> 	<p>「ひも通し」 動物の形などに切った段ボールに穴をあけて、先端を固めたひもや毛糸を通します。ストローを切ったものや、段ボールの断面などでも遊べます。</p>  <p>「いもむしごころ」 「ごーごー」という楽しいことばのリズムにのり、寝転がって横にごろごろ転がります。</p>  <p>「電車ごっこ」 長いひもやロープで大きな輪を作り、中に入って電車ごっこをします。</p> 	<p>「こっちへポン」 目標に向かってボールを投げます。大人が受け取ってもいいし、かごや穴を開けた段ボールなどをめがけても楽しいでしょう。</p>  <p>「おすもうごっこ」 押し合ったり、がっぶり組んだりして、相手を倒したり、押し出したりします。</p> 	<p>「ペタペタはりはり」 色紙を切ったものや広告紙から写真を切り抜いたものなどにのりをつけて白い紙に貼ります。</p> <p>「ボールをキック」 目標に向かってボールをけります。部屋の中でやるときは、あまりかたくないボールで、段ボールの空き箱を的にします。</p> <p>「やりとりあそび」 お買い物のごっこやお医者さんごっこなどを通して、あいさつやお金を払うなどのやりとりを再現します。</p>			

おうちで簡単！ペットボトルで作れるおもちゃ♪

♪キラキラガラガラ

ペットボトルにビー玉、貝、水などを入れます。

キャップをしっかり閉めて振ってみて



♪シャカシャカ！マラカス

ペットボトルに米やビーズなどを入れ、飲み口を合わせ、テープで固定。



♪ぷっくりふうせん

500mlのペットボトルの底をカットし、ビニール袋をかぶせ、空気がもれないようにテープで留めます。飲み口から息を吹き込み、袋をふくらませます。



♪ストロー落とし

ペットボトルにストローを入れるだけです。子どもは夢中に。最後は逆さにして取り出します。



絵本を一緒に見よう♪

絵本には、物事を考える力を育んだり心を豊かにするなどの役割があります。初めて絵本に出会う赤ちゃんにとって、絵本はおもちゃみたいなものです。始めから終わりまで読み聞かせなくては...と無理をする必要はありません。絵本をとおして楽しくふれあいましょう♪



絵本選びのポイント

- 1歳頃 日常よく目にするものがシンプルに描かれているものや、リズムカルな短い言葉が添えてあるものがおすすめ。ページをめくりながら、簡単な言葉を添えましょう。子どもが「見たことある！知ってる！」と感じられると絵本のおもしろさにつながります。
- 2歳頃 言葉が発達する頃なので、絵や言葉のリズムが楽しいものが良いでしょう。リズムに導かれて絵本のおもしろさを感じるようになります。また、子どもの日常生活に寄り添った絵本では、主人公に自身を重ねて思わず共感してしまうのも良いでしょう。
- 3歳頃 絵本のストーリーが少しずつ理解できるようになります。耳で聞く物語として語り継がれてきた昔話は、言葉から世界がイメージしやすいのでおすすめです。